

市民ふれあい ミーティング 参加者募集!

これからの茂原市について、市長と直接意見交換をしてみませんか？

◆開催期間 随時受付

※議会開催月（6月・9月・12月・3月）は除く。

※開催日・開催時間は、協議の上、決定します。

◆対象 市内在住・在勤・在学

の団体、グループで、出席者数が5人以上10人程度。

※宗教および政治上の目的を有する団体、公序良俗に反する団体は除く。

◆テーマ 申込団体・グループが設定。

◆場所 市長応接室

◆申込方法 開催希望日の1カ月前までに、電話または窓口で参加者の住所、氏名、電話番号、話し合いたいテーマを申し出てください。

お申し込み・お問い合わせは、秘書広報課（3階）

☎(20)15112、FAX(20)16001へ。

市長が行く

救急医療(高度医療)と地域医療



茂原市長 田中豊彦

県は昨年10月、突然鶴舞にある県循環器病センターから脳神経外科医2名を東金にある東千葉メディカルセンターに異動させました。このことは、50%以上の重篤な脳疾患患者を診ていただいていた長生地域や市原市、いすみ市等に大きなダメージを与えてきています。

残念なことに、この重大なことが昨年の県9月議会での代表質問で山武市の議員から質問されていましたが、私がこのことを知ったのは12月に入ってからのことでした。そのため、12月に行われた山武市長生夷隅保健地域医療連携会議の中で、この地域の重篤な25次〜3次医療を受けてくれる県循環器病センターの機能をせめて昨年の10月以前の状態で戻していただきたい旨を強く要望いたしました。

長生、夷隅、市原南部地域には、脳や心臓を扱う高度急性期病院が非常に少なく、県循環器病センターは長くその中心的役割を担ってきました。

特に、茂原からは30分程度で行けることもあって、1分1秒を争う脳や循環器疾患の救急搬送において大変重要な役割を果たしてまいりました。今、時間外の受け入れは、週3日に制限される事態になっています。また、このまま放置すると残りの脳神経外科医も今年度末には一部の医師を除きほかの病院に異動することになっていく事も分かってまいりました。さらに、数年のうちに県循環器病センターを廃止し、県救急医療センターと県精神科医療センターの統合病院へ移転させようとしていることも分かっています。

県では、救急医療(高度医療)と地域医療を医療圏ごとに分け配置していくことを視野に入れて取り組んでいるようですが、今回の県循環器病センターへの対応は、この地域の救急医療ひいては地域医療を壊すことに繋がりがかねないと思われ、地方創生ではなく地方破壊になる事を意味しているように思えてなり

ません。それだけでなく、医療過疎を何とか食い止めようと必死に取り組んでいる地方行政に、冷や水をかけるようなことはしてもらいたくないものです。高齢化が進む中で、救急医療(高度医療)を担う県循環器病センターの役割はますます重要にな

なってくるものと思われ、何となくでも残してもらおうように頑張っていきたいと思えます。

1月に入って緊急に、茂原を含む長生郡市、市原、御宿、いすみ、勝浦、大多喜で要望書を取りまとめ、県に提出してまいりました。今県議会の議長、副議長を輩出している勝浦市、市原市、そして地元の県議の皆さんにもぜひとも頑張ってもらわなければならない非常事態です。

